

平成27年度第1回岬町地域公共交通会議 議事概要

1. 開催日時 平成27年7月22日(水) 午後2時00分～16時03分
2. 開催場所 岬町役場2階会議室
3. 出席者 別紙出席者名簿参照
4. 傍聴人 0名
5. 議事次第 別紙参照
6. 配布資料 別紙参照
7. 議事内容(要旨)

(1) 開会・委嘱状交付

開会のあと、委員委嘱状を交付する。

(2) 町長挨拶

平成13年度から運行するコミュニティバス(通称赤バス)について、バス事業者から平成28年3月をもって、バス事業を撤退したい旨の申出がありました。本町としては、バス事業者の撤退による交通空白区域の発生を回避し、これまで住民生活を支えてきた重要な公共交通機関であるバス事業を、今後も維持継続する方針であります。

このバス事業撤退による新たな地域公共交通への取り組み内容などを、この地域公共交通会議において協議していただき、本町の特色を反映した新たな公共交通のあり方について提言をお願い申し上げます。

なお、挨拶後、町長は公務の都合により退席する。

(3) 委員紹介

各委員を名簿順に紹介する。

(4) 案件

案件(1) 岬町地域公共交通会議設置の趣旨及び設置要綱について

事務局より資料の説明を行う。委員からの質疑なし。

案件(2) 会長及び副会長の選出について

交通会議設置要綱の規定により委員の互選により選出されるが、委員から「事務局に一任」の意見があった。これを受けて、事務局から次の者を選出のうえ同意を得る。

会長 和歌山大学経済学部副学部長教授 辻本勝久

副会長 岬町副町長 種村誠之

案件(3) 岬町における地域公共交通のあり方について

事務局から資料-1の説明を行う。

(委員)

バス停留所ごとの乗降調査を行っているが、この調査を行った曜日は何曜日か。

(事務局)

調査は2回実施した。3月11日は水曜日、5月7日は月曜日となっており、この日は健康ふれあいセンターは休館日となっている。

(委員)

現バス事業者が保有する予備車の台数は。

(事務局)

バス事業者は7台を保有し、基本路線は小型バス2台(赤色)で運行しており、中型(青バス)1台を予備車としている。さらに青バス1台を雨天時の乗客積み残し対策として使用している。また、支線はワゴン車2台で運行しており、別に1台を予備車としている。

(委員)

私は、運行時間と利用時間帯が合わないためバスを利用したことが無い。住居から徒歩で淡輪駅まで15分程度。市内に勤めていたときは、みさき公園駅前に駐車料金を払い自家用車を駐車していた。

赤バスはだれを乗客としているのかわからない。バス運行内容は不便であり、若者の人口流出につながる。若者の利用を目指した運行方法を、また、通勤や買い物などの目的別の運行内容にすれば良いと思う。バスは、交通空白地域から駅までを主な役割とし、駅にバスが常駐されていれば多くの方が利用する。南海電鉄とも役割分担について協議する必要があるのでは。

(委員)

赤バスのダイヤは1時間に1本しかなく、帰りの時間帯にバスの便が無いため増便の検討が必要である。また、クリニックなどの送迎が多く行われており赤バスは使わない。不便なバスだから乗らないと聞いている。バス運賃料金が100円均一であり、バス利用距離に応じた見直しも必要と聞いている。

(委員)

この資料に「マイカー脱却」と記載しているが、その意図する内容は。

(事務局)

自家用車を使わなくても自由に移動できる。また高齢になって自ら車を運転できなくなったときに、移動手段として公共交通の利用、身近なバスが利用できる社会であることを目指している。

(委員)

新たなバス運行事業に要する経費、必要な予算額が示されていないが、町は幾らまでなら負担できるのか。バスの運行方法にはデマンド型や福祉タクシーという方法もあると聞いている。また、マイカー対策として、駅前に駐車場及び駐輪場の整備も併せて検討する必要がある。

(事務局)

本日は、第1回目の会議であり、町の人口減少・高齢化やバス・鉄道などの公共交通の現状と課題を説明し、この課題などを踏まえて、本町が目指す公共交通のあり方(素案)を提案させていただいている。ご指摘のとおり、財政的な検討も重要であり、2回目以降には具体的なバス運行の方法や運行形態などを提案したいと考えている。

(委員)

阪南市や泉南市でも本町と同様にコミュニティバスを走らせている。そのバス料金や市補助金などの状況を説明してもらいたい。

(事務局)

両市とも路線バスが運行しているが、併せてコミュニティバスも運行しており、バス料金はどちらも100円と聞いています。また、バス運行時間は、朝9時頃から夕方5時頃までとしている。そして、バス運行の拠点を市役所としており、阪南市では始発時には役所の玄関にバスが集合している。運行本数の詳細は把握していないが本町よりも少ない本数であると聞いている。なお、バス事業者への補助金は、阪南市で約3760万、泉南市で約3980万と聞いている。

(委員)

赤バスの運賃を100円均一とした根拠を説明してもらいたい。

(事務局)

平成13年度に赤バスを導入した際には、バス運行に要する経費から、バス運賃収入を差し引いた差額を町補助金相当額とする考えであった。そして、バス運行ルートは健康ふれあいセンター利用者の送迎ルートを参考としており、この送迎は無料で行われていたこと。また、その当時、武蔵野市が先駆けてコミバスを運行しており、他の多くの自治体においても100円均一としていたことも考慮したと考えられる。

(委員)

廃止された南海バスでも初乗り料金は140円程度であったと記憶している。100円は安すぎるのでは。

(委員)

利用者数の少ない支線を廃止し、代わりにタクシー代補助制度の導入を検討しては。

(会長)

公共交通の現状や課題について、また、現行の赤バスについても各委員から多くの意見が出されました。また、現行のバス事業者の撤退に伴う対応については、バス事業を維持継続する意向が示されており、こうした状況に対応するため、新たな地域公共交通のあり方(素案)が示されており、つきましては、今回のご意見や後で説明のある住民アンケート調査の結果などを踏まえ、今後の新たな公共交通基本計画などの具体案について審議を進めたいと考えています。

案件(4) バス事業者からの撤退申出について

事務局から資料-2の説明を行う。

(委員)

既存の基本路及び支線の運行形態などを現状のままいくのか、それとも見直しを図るのかなどの基本事項を先に議論する必要がある。今後のバス運行に係る全体像を描くことが先である。来年4月以降の交通体系を決めないと進めない。

(事務局)

先の資料で説明したとおり、現行の基本路線は改善・強化する。また、支線についてはデマンド型のあらたな輸送手段の導入を検討している。今後の公共交通に関する方針や取組内容については、資料-1の21ページ以降で、その主な内容を示しており、今後はこの方針等に基づき検討を図ります。

案件（５）アンケート調査の実施について

事務局から資料-３の説明を行う。

（委員）

申出されている大新東が撤退する旨をアンケート用紙に記載するのか。

（事務局）

バス事業者の撤退については、今回アンケート調査を行う背景として記載する予定である。また、今後の公共交通のあり方とセットで、住民の方々がどの様に考えるかという内容を予定している。

なお、アンケート調査の記載内容については各委員の意見を踏まえて実施する予定である。つきましては、住民アンケート調査に係る内容をご確認いただき、８月〇日までにご意見をいただけますようお願いいたします。

（会長）

アンケートの内容が確定次第、各委員に送付し、意見をお聴きして実施いただきたい。

案件（６）今後のスケジュールについて

事務局から資料-４の説明を行う。

（委員）

非常にタイトなスケジュールを示されたが、現行事業者の撤退を考慮すると仕方がないと考えるが、このスケジュールで間に合うのか。新たな４条事業者の運行許可手続きに、どの程度の期間を要するのか。

（事務局）

来年４月以降のバス運行に必ず間に合わせなくてはならない。次回の交通会議において、住民アンケート結果と併せて、具体的な公共交通基本計画及びこの計画に基づく運行計画をお示し、具体的な運行の形態などの提案を予定している。

また、新たな４条事業への運行許可手続きに要する処理期間は概ね６月程度と聞いている。この交通会議で合意を得れば３月間に短縮することができるため、本年１２月までには合意手続を終える予定で進めています。

（会長）

今後スケジュールに沿って進めていきたいと思っております。

８．その他

（事務局）

次回９月開催予定の交通会議の日程調整を行う。

（会長）

期間的に非常にタイトなスケジュールであり、また、岬町が直面している現状もよくご理解いただいたと思います。その中で、この会議は、今後の岬町における公共交通のあり方と、その方向性を審議し、その方向を示す必要があり、我々に託された任務は非常に重要であると思っております。

皆様方には、公私何かとご多忙の折とは存じますが、次回以降におきましても、会議の進捗にご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

委員の皆様、長時間お疲れ様でございました。

以上で、第1回岬町地域公共交通会議を閉会いたします。

午後4時03分閉会

別紙

岬町地域公共交通会議員名簿

出席者 16名

岬町副町長 種村誠之

岬町しあわせ創造部理事 串山京子

大阪第一交通株式会社 営業推進室課長代理 小川和彦

住民代表 川島徳三

住民代表 杭ノ瀬 達

岬町淡輪地区区長会長 南條磯己

岬町社会福祉協議会理事 高木辰子

岬町身体障害者福社会長 山尾貴志子

岬町多奈川長生会長 小坂 巍

岬町商工会副会長 土井健一

国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局輸送部門首席運輸企画専門官 湯川義彦

国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局総務企画部門首席運輸企画専門官 若林隆司

大阪府泉南警察署交通課長 井上征人

和歌山大学経済学部副学部長教授 辻本勝久

大阪府都市整備部交通道路室都市交通課課長補佐 矢田昌己

南海電気鉄道株式会社 経営政策室経営企画部課長 脇田和憲

欠席者 4名

大新東株式会社 大阪支店長 池田丈一郎

岬町多奈川自治区長会長 山原 学

岬町観光協会長 四至本晴夫

国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所南大阪維持出張所長 石橋博孝

議事次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 町長あいさつ
4. 委員紹介
5. 案件
 - (1) 岬町地域公共交通会議設置の趣旨及び設置要綱について
 - (2) 会長及び副会長の選出について
 - (3) 岬町における地域公共交通のあり方について
 - (4) バス事業者からの撤退申出について
 - (5) アンケート調査の実施について
 - (6) 今後のスケジュールについて
6. 閉会

配布資料

議事次第

岬町地域公共交通会議設置要綱

岬町地域公共交通会議委員名簿

資料－1 岬町地域公共交通のあり方（案）

資料－2 バス事業者からの撤退申出について

資料－3 住民アンケート調査の実施について（案）

資料－4 スケジュール（案）